

公益財団法人京都高度技術研究所 嘱託職員採用試験案内

令和8年2月16日

公益財団法人京都高度技術研究所

公益財団法人京都高度技術研究所では、令和8年度から、中小企業に対する AI・ロボティクスの導入やセキュリティ対策の強化を支援、AI・ロボティクス人材の教育プログラムを構築・提供する事業を新たに展開するに当たり、嘱託職員を募集します。

公益財団法人京都高度技術研究所の概要

1 設立の目的等

公益財団法人京都高度技術研究所は、科学技術の振興や企業経営に関する支援を通じて、地域産業の発展と市民生活の向上に寄与することを目的として、京都市、京都府及び産業界の出えんにより、昭和63年8月に設立された法人です。

2 事業

- ・ 研究開発事業を通じて、京都地域の科学技術の振興を目的とする事業
- ・ 中小企業の新事業創出、経営革新等の支援事業を通じて、京都地域の産業振興を目的とする事業
- ・ 産学公連携により、京都地域の産業競争力の強化と新事業の創出を図ることを目的とする事業
- ・ 情報関連等事業

財団の求める人物像

- 組織の一員として、チームワークを高めて仕事を進める人
- コミュニケーション能力があり、所内及び関係各所と調整できる人
- 新しいことにチャレンジする意欲のある人
- 様々な情報を収集し、行動力のある人
- 常に前向きな気持ちで仕事に取り組む人

○申込受付期間：令和8年2月16日（月）～3月6日（金）17時

○選 考 試 験：令和8年3月中旬

1 採用予定人員・職務概要・能力、経験

中小企業の支援ニーズを把握し、下表の能力や経験を活かした課題・解決を提示する提案力が必要です。

	採用予定人員	職務内容	必要となる能力・経験等 (一部の経験、能力でも可)
AI 活用支援	若干名	<ul style="list-style-type: none"> ・ AI 業務エージェントの導入支援 ・ PoC の設計・データ収集支援 ・ 中小企業向け AI 教育（講座・ワークショップ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Python 等を用いた AI モデル（分類・予測・生成 AI）の構築・運用経験 ・ データ分析、可視化（Pandas、Tableau、PowerBI 等） ・ AI 業務自動化（AI エージェント、RPA、自然言語処理）の実装経験 ・ 中小企業の業務分析（課題抽出・要件定義） ・ 製造業やサービス業の業務効率化プロジェクト ・ AI のクラウド運用（AWS Sage maker、Azure Machine Learning）
IoT・デジタル化支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ IoT 導入・データ可視化の PoC 支援 ・ 設備の状態監視や作業改善提案 ・ IoT 研修の講師 	<ul style="list-style-type: none"> ・ センサー・IoT ゲートウェイの選定／設定経験 ・ ネットワーク基礎（IP、無線、LPWA、5G など） ・ 工場・倉庫の現場改善（工程・作業分析） ・ クラウドのデータ連携（AWS IoT Core、Azure IoT Hub） ・ 製造業のスマート工場化プロジェクト ・ PLC、産業用ネットワーク（Modbus、OPC-UA）知識 ・ デジタルツインの構築経験
ロボティクス・自動化支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働ロボット／AMR の実証実験 ・ 自動化ラインの PoC 提案 ・ 自動化に関する人材育成・教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働ロボット（UR、FANUC、DOBOT 等）の教示経験 ・ 産業用ロボットの安全基準（ISO 10218、JIS B8433）の理解 ・ ロボットシミュレーション（RoboDK/VC/Gazebo）の経験 ・ 現場改善・自動化企画の経験（生産技術） ・ AMR／AGV の導入経験 ・ 画像認識（AI カメラ）を組み合わせた自動化設計

2 受験資格

(1) 年齢要件

不問

(2) 学歴要件

大学、短大、高等専門学校卒業以上

(3) その他

従事する業務に関連する資格を有する方は、評価の加点を行います。

ただし、次のいずれにも該当する場合は受験できません。

ア 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人

イ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

3 採用予定日

令和8年5月1日

4 試験の方法

試験の種類	詳細
書類選考	採用試験申込書類による書類選考
面接試験	人物、能力、性格、適性についての個別面接 経歴・経験等に関するプレゼンテーション（5分）を行ったうえで、質疑応答を行います。

5 試験日、場所及び合格発表

試験の種類	日時	場所	合格発表
面接試験	令和8年3月中旬	京都高度技術研究所	3月23日までに受験者全員に通知します。

※ 書類選考結果は申込者全員にお知らせします。

6 受験手続及び受付期間

(1) 受付期間

令和8年2月16日（月）から3月6日（金）17時までです。

(2) 申込手続

ア 受験申込期間中に京都高度技術研究所ホームページ内の「京都高度技術研究所嘱託職員採用試験のご案内」から個人情報の同意を選択したうえで、

以下の書類をPDF形式で作成してください。

- 履歴書（厚生労働省様式） こちらからダウンロードしてください。

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/member/career_doc01.html

- 「志望動機」及び「自己PR」（A4サイズ 1ページ程度、様式自由）

- 職務経歴書（A4サイズ 2ページ程度、様式自由）

イ 上記の3ファイルをパスワード付きのZIPファイルにしたうえで、京都高度技術研究所採用担当（saiyo@astem.or.jp）までメールで送信してください。

メールを送信する際には、件名を「嘱託職員採用試験応募（応募者氏名）」に設定してください。

ウ 申込者には受験申込受付を電子メールでお知らせします。あらかじめ登録するメールアドレスに京都高度技術研究所からのメール（saiyo@astem.or.jp）を受信できるように設定してください。

エ 京都高度技術研究所総務部で受験申込内容の入力内容を確認し、受付処理を行います（土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める休日を除き、おおむね3日以内に行います。）。

なお、入力内容に間違いや疑義等があった際は、メールまたは以下の電話番号から連絡して確認する場合がありますので、ご対応をお願いします。

075-315-9013（京都高度技術研究所総務部）

また、受験申込入力データを送信した後、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める休日を除き、3日経過してもメールが届かない場合は、総務部までお問い合わせください。

オ 受付処理が完了すると、登録したアドレス宛に「宣誓書兼写真票について（受験申込受付メール）」が届きますので、必ずご確認ください。

確認後、メールに添付されている「宣誓書兼写真票」のPDFファイルを印刷（A4サイズ、片面印刷）してください。

カ 印刷した「宣誓書兼写真票」の宣誓欄に自署し、写真（3ヶ月以内に撮影したもの、縦4cm・横3cm、脱帽・上半身・正面向き）を貼付してください。

キ 面接試験当日に「宣誓書兼写真票」を必ず持参してください。試験当日に、宣誓書兼写真票を忘れた場合または写真の貼付を忘れた場合は、受験できませんので、ご注意ください。

※ 写真は、本人確認を行う際に必要となりますので、忘れずに貼付してください。

7 勤務条件等

職員就業規則等に基づき、おおむね次のとおりとなります。

(1) 勤務場所

公益財団法人京都高度技術研究所（京都市下京区中堂寺南町134）

(2) 雇用期間

令和8年5月1日～令和9年3月31日

事業の継続性や勤務成績を踏まえて、契約更新の可能性があります。ただし、更新上限回数は2回。令和11年3月31日までの更新を上限とします。

(3) 勤務日・勤務時間

原則として、月曜日から金曜日まで、午前9時から午後5時45分までです。ただし、必要により時間外に勤務を要する場合があります。

(4) 休日・休暇

原則として、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始（12月29日～1月3日）です。

週5日勤務の場合、1年間に20日の年次有給休暇や結婚休暇、服喪休暇、出産休暇などの特別休暇のほか、夏期休務などの休暇制度があります。

ただし、勤務日数に応じて、付与されない休暇制度もあります。

(5) 給与・手当・福利厚生

	週5日勤務	週4日勤務
月額給料	500,000円	400,000円
手 当	通勤手当	
福利厚生	社会保険（健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険）	

(6) その他

本嘱託職員の募集は、本業務に係る京都市の令和8年度予算の成立を前提に行うものです。そのため、予算が成立しなかった場合、本嘱託職員の募集及び採用選考の結果等は無効となります。

この場合、本件募集のために行った準備行為等に係る費用が既に発生していても、採用予定者は、その費用を当財団に請求することはできません。

8 個人情報の取扱い

本試験の実施に際して収集した個人情報については、採用試験及び採用に関する事務の目的以外には利用しません。

また、応募書類は、採用試験終了後、当財団で責任をもって廃棄します。